

「和歌浦干潟を教材とした都市における 自然環境の重要性と地域における環境保全活動の実態」

大阪公立大学大学院工学研究科 遠藤 徹

演習の概要

和歌山市の和歌川河口に広がる和歌浦干潟は、希少生物の生息が確認される天然の干潟で、万葉集にも詠まれるなど文化的な価値を有するとともに潮干狩りや海水浴場としての観光利用や環境学習の場として地域に親しまれている。しかし近年、ツメタガイやナルトビエイによるアサリの食害が問題となっており、地元のNPOや小学校、漁協が協力しながらアサリの保護活動が実施されている。本授業では、地域で実施している環境保全活動を体験するとともに、大阪湾における環境保全活動の実態について調査し、都市と自然環境の共存の在り方について学ぶことを目的とした。



授業内容

- ① 座学: 都市における自然環境(生態系サービス)の重要性と海の環境に関する講義
- ② 現地視察: 和歌浦干潟でアサリの保護活動の視察と自然環境の体験
- ③ 環境保全活動の調査: 環境保全の取り組みを調査し、実態や課題について発表資料にまとめる
- ④ ワークショップ: 調査した環境保全の取り組みにを題材にした意見交換

① 知る

海の生態系と環境教育の講義

『海辺の生態系サービスと大阪湾の環境』
大阪公立大学工学部都市学科 遠藤 徹
『あさり姫の事例紹介と環境教育の実際』
NPO人と自然とまちづくりと 平井 研



② 見る、触れる

和歌浦干潟で現地視察と環境体験

- 竹筒によるアサリの保護活動の現場視察
- 片男浜で海ごみに漂着状況の視察
- 和歌浦干潟で生物調査
- 環境教育に関するレクチャー
- 雑賀崎展望塔で記念撮影



③ 自分のものにする

学生によるプレゼンテーション

発表内容

『エコリズムについて』
河根(商学部)、三木(商学部)
『海に関する事業について』
竹森(商学部)、永山(経済学部)
『海の環境NPOについて』
阪本(商学部)、辻井(文学部)



受講生の感想

- 体験型で、普段経験できないような体験ができて良かった。
- 対面で聞けないようなこと(本音)が聞けたのが良かった。
- 予定変更があったけど楽しめた。
- 環境はきれいにするのが目標だと思ったけど、目指すべき方向が重要だと感じた。

